

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

コード	名 称		コード	名 称	
事業名	339	老人福祉一般	会計	01	一般
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	阿山支所 健康福祉課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	森下 泰成	連絡先	目	01	老人福祉総務費
			細目	101	老人福祉一般事業
			細々目	01	老人福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	市内に住所を有する、①65歳以上の一人暮らし高齢者 ②一人暮らしで身体障害者手帳1級、2級を所持する方	緊急連絡の手段を確保することにより、安心して暮らすことができる。			
本年度事業内容	緊急通報装置を貸与することにより、緊急連絡の手段を確保する。 緊急通報装置の設置及び維持 18年度から維持費は本庁予算 支所は申請受付、相談等の事務経費				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市緊急通報装置貸与事業運営要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	316	102	102
需用費	76	102	102
役務費	240		
その他			
合計(A+B)	3,916	3,702	3,702
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,916	3,702	3,702
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
対象者	人	37	本庁				
緊急通報装置維持費	千円	206	本庁				
一般事務経費	千円	110	102	102			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
助成者数	助成対象者の人数による	人	37 目標 ()	40	40
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

18年度から設置維持費は本庁予算

評価	必要性	4	高齢者の地域での生活を支援していくため必要な事業	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		